

欧州自動車産業ニュース

No. 923

2024年3月15日号

シーメンスとMAN、共同白書を発表 商用車用充電インフラの整備加速を要請

ソラリス、2023年は18%増収

ブリヂストンEMEA、スペイン工場に2億700万ユーロ投資

川崎重工とシンビオ、燃料電池システムの共同開発で基本合意

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

シーメンスとMAN、商用車用充電インフラの整備加速を求める共同白書を発表 4

企業情報

自動車メーカー

プジョーの新「2008」、英でHVモデルの受注を開始 5
フィンランドのヴァルメト、23年は減収減益 6
ボルボ・カーの2月販売2%減、春節の中国市場が影響 6
ソラリス、2023年は18%増収 7

部品メーカー

ブリヂストンEMEA、スペイン工場に2億700万ユーロを投資 8
EKPO、FAW傘下の紅旗に燃料電池を供給 8
加バラード、英国で定置用燃料電池システム5MWを受注 9
仏セグラ、ドイツで200人増員 9
ノルウェーのコングスバーク、中国電動車大手からアクチュエーターを受注 9

クローズアップ

Duisburg Gateway Terminal (DGT) 10

欧州自動車短信

テスラ、ソラリス 11

一般・その他

強制労働の産物締め出し法案、加盟国と欧州議会が合意	12
包装廃棄物削減の規則案、EUが暫定合意	12
EU初の欧州防衛産業戦略発表、防衛力強化へ共同調達促進	13

テクノロジー・トレンド

川崎重工とシンビオ、燃料電池システムの共同開発で基本合意	14
仏ヴァレオ、UnityベースのARドライビングゲームシステムを開発	14

目で見える欧州自動車産業ニュース

ゼロエミッション・バス(BEV+FCEV)市場シェア:欧州、メーカー別	15
---	----

企業名索引.....13

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

シーメンスとMAN、商用車用充電インフラの整備加速を求める共同白書を発表

ドイツの電機大手シーメンスと商用車大手のMANは8日、政策立案者に対し商用車向けの充電インフラの迅速な整備を求める共同白書「ドイツにおける気候中立の道路貨物輸送交通のシナリオ」を発表した。この共同白書は、道路貨物輸送における気候中立なシナリオと必要な充電インフラの整備に焦点を当てており、業界関係者の緊密な連携の重要性も指摘している。

白書では、充電インフラの整備を促進するための具体的な措置に言及している。例えば、◇高出力の充電設備と十分なスペースの提供◇ネットワーク計画と拠点決定へのネットワーク運営事業者の早い段階からの関与◇電力網への接続の承認手続きの中央窓口の設置◇事業者の資金計画の安全性を確保するための電気商用車および充電インフラを対象とした融資◇標準化の取り組みのさらなる推進——などを提示している。

MANのアレクサンダー・ヴラスカンプ最高経営責任者（CEO）は共同白書の発表に際し、「ドイツには商用車用の公共の充電拠点がまだ一カ所もない。しかし、ドイツでは2030年までに1万口のトラック用充電ポイント、うち、4,000口はメガワットの充電システムを整備する必要がある。また、立ち上げ期には、車庫における充電も重要な役割を担う。我々は双方のテーマに早急に取り組む必要がある」との見解を示している。

<AI21782>

ヨーロッパで

ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

企業情報

■自動車メーカー■

プジョーの新「2008」、英で HV モデルの受注を開始

欧州自動車大手ステランティス傘下の仏プジョーは 6 日、英国市場で小型クロスオーバー「2008」の新モデルのハイブリッド (HV) 仕様車の受注を開始したと発表した。また、電気自動車 (EV) モデル「e-2008」のパワートレインを刷新したことを明らかにした。

HV モデルにはプジョーが新たに開発した 48 ボルトの「HYBRID 136 e-DSC6」パワートレインが搭載される。同パワートレインは、1.2 リットル直列 3 気筒ターボ・ガソリンエンジン「ピュアテック」と、ハイブリッドシステム用に特別開発した 6 速デュアルクラッチ電動式トランスミッション「e-DSC6」、容量 0.9 キロワット時 (kWh) の 48V リチウムイオンバッテリーで構成される。

このうち「e-DSC6」には電気モーター (最高出力 21 キロワット (kW)) が一体化されており、加速時にモーターがエンジンを補助し、減速時にはエンジンが停止してモーターが発電機となりバッテリーを充電する。電動モードで最大 1 キロメートルを走行できる。従来の「ピュアテック 130EAT8」エンジンと比べ、走行 1 キロあたりの二酸化炭素 (CO2) 排出量を最大 26 グラム削減する。

EV モデルの「e-2008」は新たに出力 100kW の電気モーターと、容量 50kWh のバッテリーを搭載する。最大航続距離は約 344 キロメートル (WLTP サイクル)。出力 100kW の DC 急速充電器でバッテリー容量の 20% から 80% までを 30 分弱で充電できる。7.4kW の AC 充電器を使用した場合、充電時間は 7 時間 30 分となる。

新型「2008」の販売価格は、ガソリンモデルが 2 万 4,170 ポンドから、HV モデルは 2 万 7,770 ポンドから、EV モデルは 3 万 5,700 ポンドからの設定となっている。



出所: PEUGEOT

<AI21783>

フィンランドのヴァルメト、23 年は減収減益

フィンランドの自動車・部品受託生産メーカー、ヴァルメト・オートモーティブ（VA）が5日発表した2023年通期決算は営業利益が1,950万ユーロとなり、前年から37.6%減少した。車両受託製造（VCM）部門の不振により総売上高は21.8%減の22億2,140万ユーロに落ち込んだ。このため、売上総利益（粗利益）は12%減の5億3,120万ユーロに低迷し、営業利益率は1.5ポイント減の3.7%に若干悪化した。キャッシュフローは前年のマイナス5,680万ユーロからマイナス4,970万ユーロに若干改善した。

VCMは受託生産台数の落ち込みに加え、メルセデス・ベンツ「GLC」の生産終了が響き、総売上高、売上総利益が大幅減収となった。一方、電気自動車システム（EVS）とルーフ・アンド・キネマティック・システム（RKS）の両部門は既存製品の生産増と新規顧客の獲得により増収を確保した。

同社は2023年、VCM部門がフィンランドのウーシカウプンキ工場でメルセデスの「AMG GT4 ドアクーペ」の量産を開始した。EVS部門も同工場からバッテリーシステムの新製品を出荷したほか、ドイツ南部のキルヒャルト（ハイムブロン近郊）に建設したバッテリーシステム工場も稼働させた。RKS部門は2025年前半の完成に向けポーランド西部のジャリ工場を拡張している。

<AI21784>

ボルボ・カーの2月販売2%減、春節の中国市場が影響

スウェーデンの乗用車大手、ボルボ・カーが5日に発表した2月の世界販売は5万315台で、前年同月比で2%の減少となった。販売減は18カ月ぶり。旧正月（春節）に伴う中国市場の販売低迷が大きく影響した。

2月の販売台数を地域別に見ると、主力市場の欧州が26%増の2万6,773台となったものの、中国は39%減の7,911台と大きく後退。米国（7%減の7,920台）、その他の地域（8%減の7,711台）も振るわなかった。

完全電気自動車（BEV）やプラグインハイブリッド車（PHV）など充電可能な車種の専門ブランド「リチャージ」は2月の世界販売で過去最高の44%を占めた。このうちBEVは小型SUV「EX30」の販売好調などが奏功し、世界販売の22%を占めた。

リチャージブランドの2月の世界販売は8%増の2万2,266台と健闘した。地域別に見ると、欧州は18%増の1万6,133台と好調で、米国も6%増の2,571台に伸びた。その他の地域は8%減の3,147台。中国は63%減の415台と落ち込みが目立った。

同ブランドのBEVは14%増の1万924台に拡大した。欧州が31%増の8,799台と躍進し、中国（20%減、137台）、米国（63%減、359台）、その他の地域（5%減、1,629台）の不振を補った。2月の販売をモデル別に見ると、「XC60」（1万6,026台）、「XC40」（1万3,193台）、「XC90」（7,299台）のSUV3モデルは好調を維持した。

<AI21785>

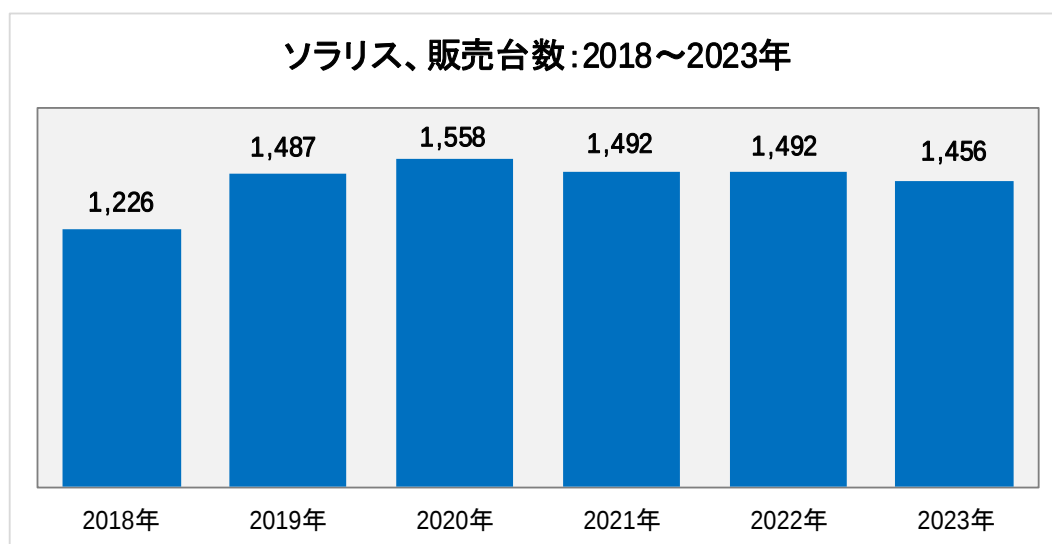
ソラリス、2023 年は 18%増収

ポーランドのバス製造大手ソラリスは 12 日、2023 年通期の販売台数が 1,456 台となり、売上高は前年比 18%増の 8 億 1,900 万ユーロに拡大したと発表した。2023 年の欧州のゼロエミッション・バス（BEV：電気バス＋FCEV：水素バス）市場における同社の市場シェアは 15.2%で、首位となった。2012～2023 年の当該市場シェアにおいても 14.5%で首位となっている。今後に向けては、欧州市場における市場地位を堅持するとともに、北米市場への進出に意欲を示している。

2023 年は 17 カ国の顧客にバスを出荷した。うち、電気バスは 690 台、トロリーバスは 202 台、水素バスは 81 台だった。販売台数のうち、ゼロエミッションおよび低エミッション・バス（電気、水素、トロリー、ハイブリッド）の割合は 82%を占めている。

ソラリスは、2023 年の欧州の水素バスの登録台数における市場シェアで 44.5%を占めた。また、同社は 2023 年末までに、2024～2026 年に出荷する予定の 535 台の水素バスの受注を確保している。

北米市場への進出に向けては、昨年 8 月にカナダのバンクーバーで同社のバスを展示し、現地の事業者から好反応を得た。記者会見では、2026 年の商用化を予定するアメリカ市場向けモデルのイメージを発表した。



出所：Solaris

（【目で見える欧州自動車産業ニュース】15 頁に関連グラフ掲載）

<AI21786>

■部品メーカー■■■■■■■■■■

ブリヂストン EMEA、スペイン工場に 2 億 700 万ユーロを投資

ブリヂストン（東京都中央区）の欧州・中近東・アフリカ（EMEA）事業部門は 11 日、スペイン北部のブルゴス工場に 2 億 700 万ユーロを投資する計画を発表した。高付加価値の高インチタイヤ（HDR、18 インチ以上）の生産能力を増強するとともに、生産工程を近代化し、生産性の向上や環境負荷の低減を図る。今回の投資計画は、2030 年までに実施する方針。同社にとって欧州では過去最高の投資規模となる。

具体的には、自動化による生産性の向上、ゴムの加硫工程（硫黄を用いて材料に架橋を起こす製法）の生産能力増強、自動高床倉庫の設置、などを計画している。HDR タイヤの生産能力は 75% 拡大し、700 万本以上に引き上げる計画。

また、工場の近代化により、二酸化炭素（CO2）排出量を現在と比べて年約 410 トン削減できる見通しであり、2030 年までの累計で約 2,000 トンを削減できると見込んでいる。

<AI21787>

EKPO、FAW 傘下の紅旗に燃料電池を供給

独エルリングクリンガー（EK）と仏プラスチック・オムニウム（PO）による燃料電池スタックの合弁会社 EKPO フューエルセル・テクノロジーズ（以下、EKPO）は 8 日、中国の自動車大手、第一汽車（FAW）と燃料電池スタック・モジュールの開発および供給に関する契約を締結したと発表した。固体高分子形燃料電池（PEMFC）スタック・モジュール「NM 12 シングル」のプロトタイプを FAW 傘下的高级車ブランドである紅旗（Hongqi）の次世代の燃料電池車向けに供給する。

EKPO の燃料電池スタックはこれまでに、北京で開催された冬季オリンピックに投入された紅旗のシャトル車に採用された実績がある。EKPO は、中国政府が戦略的に水素経済の発展を支援していることから、中国が将来の重要市場になると見込んでいる。このため、EKPO は 2022 年に中国子会社を設立し、開発・生産の環境を整備してきた。

今回、紅旗に供給する PEMFC スタック・モジュール「NM 12 シングル」は、乗用車および小型商用車への搭載に適している。

<AI21788>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



加バラード、英国で定置用燃料電池システム 5MW を受注

カナダの燃料電池大手バラード・パワー・システムズ（以下、バラード）は5日、再生可能オフグリッド発電を事業とする英国企業から、15メガワットの燃料電池システムを受注したと発表した。2024年末から2025年を通して100kWの燃料電池システム「FCmove-HD+」を150システム、出荷する予定。

バラードは当該顧客からすでに、定置用途向けに5MWの燃料電池システムを受注した実績がある。今回の新規受注は、2026年3月末までに追加で296システムを発注できるオプションが含まれており、当該顧客がオプションを全面的に行使すると、取引規模は計446システムとなる。

バラードのデビッド・ムチャッチャロ最高商務責任者（CCO）は今回の受注に際し、「従来のディーゼル発電機の代替として燃料電池システムの需要が増えている。燃料電池システムは、EVの充電、映画撮影、イベント、建設現場などの様々な用途向けのオンサイト発電設備として、柔軟性があり、予測可能で、クリーンで静かなソリューションを提供することができる」とコメントしている。

<AI21789>

仏セグラ、ドイツで200人増員

仏エンジニアリング会社のセグラ・テクノロジーズ（以下、セグラ）は12日、ドイツにおける従業員を年内に約200人増員する方針を発表した。同社の国際的な成長とドイツにおける受注好調を受けた措置。

ドイツ事業は2023年に、開発・試験サービスの需要拡大やプロジェクトの受注などにより、前年比20%の増収を確保した。現在、特に独中部のライン・マイン地域で増員の必要があるほか、ミュンヘン、シュツットガルト、ケルン、インゴルシュタット、ボルフスブルクの拠点でも人員が不足している。

セグラのドイツ事業は、自動車分野で現地の自動車大手や部品メーカーを顧客に持つほか、アジアの顧客や新興企業の欧州市場参入もサポートしている。今後に向けては、既存の重要分野の強化に加え、航空・宇宙、エネルギー、鉄道などの他分野にも注力し、事業の多角化を進めていく方針を示している。

セグラは現在、世界全体で1万5,000人の従業員を抱えており、うち、1,000人以上がドイツに勤務している。

<AI21790>

ノルウェーのコングスバーク、中国電動車大手からアクチュエーターを受注

ノルウェー自動車部品大手のコングスバーク・オートモーティブ（KA）は11日、中国の大手電動車メーカーから、プラグインハイブリッド（PHV）モデル向けの電動ロータリー・アクチュエーターモジュールを受注したと発表した。受注規模は2,200万ユーロ。今年から7年間供給する計画となっている。

受注したアクチュエーターモジュールは、車両が駐車中に動き出すのを防ぐパークロック機構に搭載するもの。コンパクトな設計で、特定の位置でトルクと速度を可変できるよう設計されている。中国の無錫にあるKAの工場で製造し、出荷する。

KAのデビッド・レッドファーン最高営業責任者（CxO）は「中国の大手電動車メーカーによる今回の発注は、顧客が当社製品の品質と安全性・独自性に着目した表れだ」と述べた。

<AI21791>



Duisburg Gateway Terminal (DGT)

世界最大の内陸港であるドイツのデュースブルク港に建設するトリモーダルの後背地ターミナル。物流会社、港湾運営会社が出資する同名の合弁企業 Duisburg Gateway Terminal GmbH が運営する。

ドイツ復興金融公庫（KfW）グループ傘下で輸出・プロジェクト融資を担当する IPEX-Bank はこのほど、DGT の第 1 フェーズの建設・運営に融資すると発表した。

第 1 フェーズでは、面積 23 万 5,000 平方メートルのコンテナターミナルを建設する。これは、欧州の内陸港では最大のコンテナターミナルとなる。

船舶、鉄道、トラックの 3 つの輸送手段間の積み替えが可能なトリモーダルのターミナルで、水素による完全な気候中立の運営が可能なコンテナターミナルとなる。デュースブルク港は、水素ベースのエネルギー転換を進めるプロジェクト「enerPort II」を実施しており、当該プロジェクトの一環として、DGT の運営にも水素を使用し、多くのプロセスを電動化する計画。

DGT の敷地内には、危険物のタンクコンテナ用の倉庫を設ける予定。川の水位が低く内陸船の運行が困難な場合に、ライン川沿いの化学分野の企業が倉庫として使用できるようにするほか、水素または前駆体アンモニアが充填されたタンクコンテナの積み替え拠点としても使用できる。これにより、大手企業と異なり、水素供給のパイプラインに接続されていない小規模企業向けに水素を供給することが可能になる。

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「クリッピング」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000～3,000ユーロから



欧州自動車短信

■ 米電気自動車メーカー、**テスラ**の独グリーンハイデ工場への電力供給が11日夜に再開した。同工場は、5日に近隣の送電用鉄塔に放火があった影響で停電し、生産停止に追い込まれていた。電力供給の再開を受け、段階的に生産ラインの稼働を開始する。いつ頃、完全に元の状態に戻るかは現時点では不明としている。今回の放火を巡っては、エネルギーインフラへの攻撃を特徴とする左翼過激派「**ヴルカン・グループ**」が犯行声明を出している。また、テスラのグリーンハイデ工場を巡っては、同工場の拡張計画に反対するデモが実施されている。テスラは100ヘクタール超の森林を伐採し、現行の工場敷地(300ヘクタール)に加え、物流施設や保育施設を新たに建設する計画を打ち出している。

■ ポーランドのバス製造大手 **ソリス** は14日、仏イル・ド・フランス地域の公共交通事業者イル・ド・フランス・モビリティスが実施した水素バス22台の調達・メンテナンスに関する入札に参加し、落札したと発表した。2025年までに、水素バス「ウルビーノ12」を22台、供給する。今回の水素バスの入札は、同地域の公共交通システムに水素技術を活用する潜在性を評価するパイロットプロジェクトの一環となる。

<AI21792>

Information Broker Service

私たちは情報を迅速に探し出すスペシャリストです

FBCでは長年の調査業務ノウハウを活用して
広範囲な情報検索サービスを提供しています



プレスリリース

特定テーマに関する各界の評価
政府の統計データ・公式見解など



情報検索

官報・広報・特許・学術文献
調査レポート・書籍など



問合せや訪問予約の
アレンジメント

産業団体・関係当局・専門家
各所への問い合わせなど

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせはFBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de まで

一般・その他

強制労働の産物締め出し法案、加盟国と欧州議会が合意

欧州連合（EU）加盟国と欧州議会の代表は5日、強制労働で生産された製品をEUから締め出す法案について暫定合意した。強制労働の産物であることが判明した製品の輸入、販売だけでなく輸出も禁止する。

同法案は欧州委員会が2022年9月に発表したもの。特定の国、産業、業種を名指ししていないが、中国の新疆ウイグル自治区での人権侵害問題を念頭に置いている。

EU議長国のベルギーと欧州議会の代表が合意した案は概ね欧州委の原案を踏襲。製品に強制労働が絡んでいるかどうかの調査を欧州委とEU各国が担う。欧州委は疑わしい製品などの情報に関するデータベースを整備、運用し、各国を支援する。欧州委または1カ国が強制労働で生産されたと判断した製品は、EU全域で締め出される。既に流通している製品については、廃棄するか寄付に回す。

同法案はEU加盟国、欧州議会による承認を経て成立となる。

<AI21793>

包装廃棄物削減の規則案、EUが暫定合意

欧州連合（EU）加盟国と欧州議会の代表は4日、EU域内の包装廃棄物を削減するための規則案について暫定合意した。2040年までに各加盟国が廃棄物を18年比で15%削減するのを義務付けるのが柱。成立には加盟国と欧州議会がそれぞれ承認することが必要となる。

EUでは包装廃棄物のリサイクルや再利用の促進に主眼を置いた「包装廃棄物指令」が施行されているが、欧州委によると、域内における廃棄物は過去10年間に20%以上増えており、EU市民1人当たりの排出量は年間約180キログラムに上る。何も対策を講じなければ増え続けるため、欧州委員会は22年11月、包装廃棄物削減に向けた規則案を発表していた。

規則の柱は包装廃棄物を30年までに18年比で5%、35年までに同10%、40年までに同15%の幅で減らし、包装材メーカーに対して30年1月までに原則として全ての包装材・梱包材をリサイクルできる設計とすることを義務付けるという点。

EU議長国ベルギーと欧州議会の代表による協議では、この主要部分については原案を承認した。レストランやカフェなどで提供される食品・飲料の使い捨て包装や、野菜・果物の使い捨て包装、ホテルがアメニティとして提供するシャンプーのミニボトルなどを段階的に制限することや、過剰な包装を減らすため、箱など包装の空きスペースを50%以下とすることなどでも合意した。

ただ、再利用可能な容器への切り替えを求める対象から、輸送用段ボールとワイン、牛乳など傷みやすい飲料の容器が除外された。段ボールは製紙業が経済の大きな柱となっているフィンランド、ワインはイタリアの要求を受け入れた。

<AI21794>

EU 初の欧州防衛産業戦略発表、防衛力強化へ共同調達促進

欧州委員会は5日、欧州連合（EU）の防衛力強化に向けた欧州防衛産業戦略（EDIS）を発表した。ロシアの軍事的脅威が高まるなか、加盟国が協調してEUの防衛産業を強化し、兵器や弾薬を海外に頼らず域内で調達できるようにする狙いがある。

EUレベルの防衛産業戦略は初。◇2030年までに防衛装備品の40%を加盟国が共同調達する◇加盟国に30年までに防衛調達予算の少なくとも50%、35年までに60%を域内での調達に充てるよう求める◇30年までに域内の防衛産業市場の35%以上を域内での取引が占めるようになる――が柱となっている。

EU加盟国はベルリンの壁崩壊を機に防衛予算を減らしてきた。ロシアによるウクライナ侵攻を機に各国は防衛予算を増やしているが、ウクライナに十分な兵器、弾薬を供給できないなど、防衛産業の弱体化が露呈した。欧州委によると、ウクライナ侵攻が始まってから23年6月までに加盟国は防衛装備品調達に総額1,000億ユーロ以上を投じたが、80%が域外との取引。60%以上を米国が占める。

欧州委は調達の過度な米国依存、加盟国が自国企業に優先的に発注している状況を是正し、協調して防衛産業を底上げしたい考え。25年から27年にかけてEU予算から15億ユーロを拠出し、同戦略を推進する。EUの政策金融機関である欧州投資銀行（EIB）の融資を兵器、弾薬購入に活用する方針も盛り込んだ。ロシアへの制裁として凍結したEU域内にある国有資産から生じる利潤を利用することも視野に入れている。

米国が同盟諸国などによる米国産の防衛装備品調達を促進するため導入している有償援助制度のEU版を創設する構想も打ち出した。

同戦略は加盟国と欧州議会の承認が必要となる。

<AI21795>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁	
Ballard Power Systems	9	Siemens4
Bridgestone	8	Solaris7,11
EKPO	8	Symbio.....14
Kawasaki Heavy Industries....	14	Tesla11
Kongsberg Automotive	9	Valeo14
MAN	4	Valmet Automotive6
Peugeot	5	Volvo Cars.....6
Segula Technologies	9	



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

川崎重工とシンビオ、燃料電池システムの共同開発で基本合意

川崎重工（東京都港区）と燃料電池システムメーカーの仏シンビオは 2 月 28 日、建設機械を含むモビリティ向け燃料電池システムの共同開発について覚書（MOU）を締結したと発表した。川崎重工は、建設機械分野のネットワークや高圧水素ガスバブルの開発・製造に関する経験を、シンビオは自動車向け燃料電池のノウハウを提供し、さまざまなモビリティ用途向けの燃料電池システムの開発の可能性を模索していく。

川崎重工はこれまで、多くの建設機械メーカーに油圧製品を提供してきた。近年では、燃料電池車用の高圧水素ガスバブルを開発し、産業車両メーカーや国外の自動車大手向けに量産している。

シンビオは、燃料電池システムの開発で 30 年以上の経験を持つ。同社は、主要な自動車メーカーの小・中・大型の商用車や、その他のモビリティ用途向けに水素燃料電池システムを供給している。

<AI21796>

仏ヴァレオ、Unity ベースの AR ドライビングゲームシステムを開発

仏自動車部品大手のヴァレオは 4 日、ゲーム開発プラットフォーム「ユニティ（Unity）」を使い、拡張現実（AR）タイプのドライビングゲームシステム「ヴァレオ・レーサー」を開発したと発表した。走行中の車の周囲環境をリアルタイム技術によりゲームの世界に再現するもので、新次元のドライブ体験を創出できるとしている。米テキサス州オースティンで 8 日から 16 日まで開催される世界最大級のクリエイティブ系カンファレンス「サウス・バイ・サウスウエスト 2024」で公開し、デモンストレーションを行う。

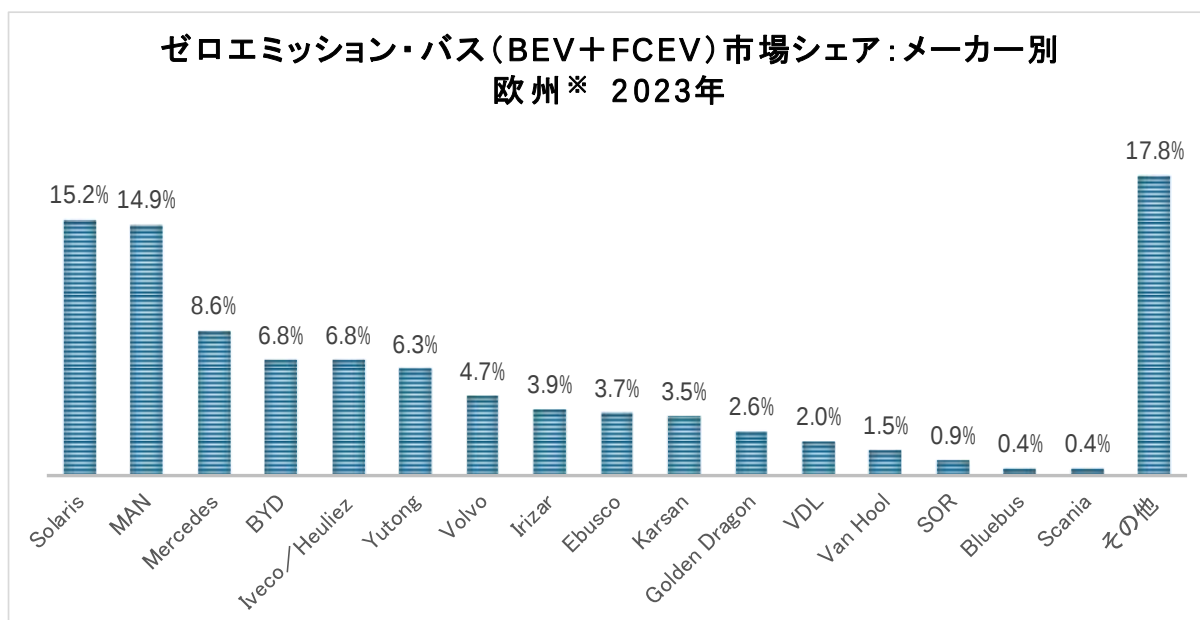
ヴァレオ・レーサーは先進運転支援システム（ADAS）を構成する車載カメラ、レーダー、超音波センサーなどからのデータと、人工知能（AI）による認識アルゴリズムをベースに、車両のリアルタイムの周囲データをユニティのプログラムに取り込むことでゲームとして生成する。道路や建物、他の交通者など実際の走行状況を AR 技術によりゲーム世界に再現するため、毎回異なるゲーム内容を楽しめる。乗客は車内 Wi-Fi に接続された端末でプレイする。

ユニティは車の設計段階のコンセプトや ADAS のシミュレーションツール、製品化されたインフォテインメントシステムに使用されるなど、自動車業界で注目を集めている。

<AI21797>

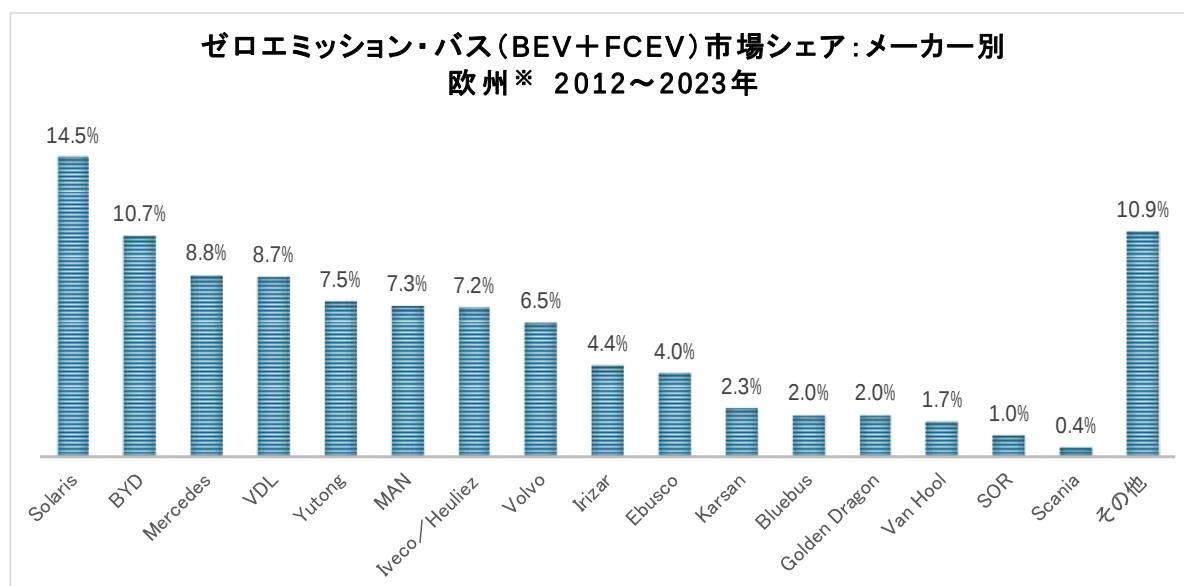
目で見える欧州自動車産業ニュース

ゼロエミッション・バス(BEV + FCEV)市場シェア: 欧州、メーカー別



※EU27カ国(英国とアイルランドを除く) + アイスランド、ノルウェー、スイス

出所: CME Solutions; Solaris



※ 2012~2019年: 西欧 + ポーランド(英国とアイルランドを除く)

※ 2020~2023年: EU27カ国(英国とアイルランドを除く) + アイスランド、ノルウェー、スイス

出所: CME Solutions; Solaris

<AI21798>